

認証番号0013585

# 環境経営レポート

(運用期間:2023年7月~2024年6月)



## 田岡企業株式会社

発行日: 2024年7月1日

## I. ごあいさつ

田岡企業株式会社は、昭和44年の設立以来、管工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

## 環境経営方針

当社は、主に管工事業の設計施工の事業をしております。管工事業を通じて「環境に優しい施工」をモットーに、地球環境の保全のため、環境負荷の一層の低減を図るべく、定期的に経営における課題とチャンスを明確化すると共に、エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、社員一丸となって自主的・積極的に環境への取組を推進します。

- 1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
- 2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。 (電力、ガソリン、軽油、)
- 4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
- 5. 水使用量の削減を推進します。
- 6. 環境に配慮した施工を推進します。
- 7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日: 2021年9月1日

代表取締役 田岡 献一郎

#### Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名 田岡企業株式会社 代表取締役 田岡 献一郎

(2) 所在地

本 社 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和1724番地

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者代表取締役田岡 献一郎TEL:078-974-1666担当者鎌倉 明子FAX:078-975-6950

稲岡 真紀 E-Mail: keiri@taokakigyo.co.jp

(4) 事業内容

管工事業

許可番号 兵庫県(特-28) 第103858号 許可年月日 令和2年3月11日

許可期限 令和7年3月10日

土木工事業・舗装工事業・水道施設工事業・消防施設工事業

許可番号 兵庫県 (般-28) 第103858号 許可年月日 令和2年3月11日

許可期限 令和7年3月10日

(5) 事業の規模

設立 昭和44年1月26日

資本金 3千万円

売上高 11,742百円 (2023年度実績)

各事業所の規模

	本社	(倉庫)	合計
従業員	4名	無人	4名
延べ床面積	290 m²	79 m²	$369\mathrm{m}^2$
敷地面積	約400㎡	79 m²	約400㎡

(6) 事業年度 7月~翌年6月

#### Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

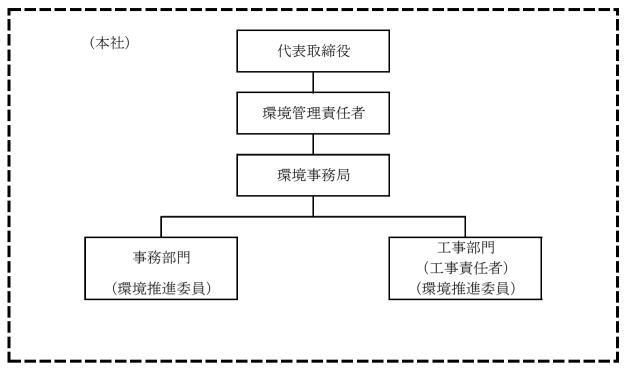
登録組織名: 田岡企業株式会社

対象事業所: 本社

活動: 上下水道給排水設備工事、空調冷暖房設備工事、

消防設備工事、水道施設工事、土木工事

### 田岡企業株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	勿。 4.4.7.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 (環境推進委員)	<ul> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>環境教育訓練計画の作成と実施の管理</li> <li>特定された項目の手順書作成 (緊急事態への対応を含む)</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
工事責任者 (環境推進委員)	<ul><li>・建設現場における環境経営システムの実施</li><li>・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施</li><li>・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li><li>・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成</li><li>・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施</li></ul>
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

#### IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 基準年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	18, 213	15, 820
電力使用量	k Wh	13, 293	11, 100
ガソリン使用量	L	5,600	5, 142
軽油使用量	L	303	71
廃棄物排出量	kg	_	_
一般廃棄物	kg	384	178
産業廃棄物	kg	3, 900	6, 340
水道水使用量	m³	222	165

<sup>※</sup> 産業廃棄物(特別管理)は産業廃棄物6.340 t の中に3.0 t 含む

#### V. 環境経営目標及びその実績

#### (1) 中期目標

年 項 目	度	2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
I. 二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	18, 213	18, 031	17, 849	17,666	17, 484
排出量削減	対基準		△1%	△2%	△3%	$\triangle4\%$
電力使用量削減	kWh	13, 293	13, 160	13, 027	12, 894	12, 761
	$kg-CO_2$	4, 440	4, 395	4, 351	4, 307	4, 262
	対基準		$\triangle$ 1 %	△2%	△3%	$\triangle4\%$
ガソリン	L	5, 600	5, 544	5, 488	5, 432	5, 376
使用量削減	kg-CO <sub>2</sub>	12, 991	12, 861	12, 731	12, 602	12, 472
	対基準		△ 1 %	△2%	△3%	$\triangle4\%$
軽油	L	303	300	297	294	291
使用量削減	kg-CO <sub>2</sub>	782	774	766	758	750
	対基準		△ 1 %	△2%	△3%	$\triangle4\%$
Ⅱ. 廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	384	380	376	372	369
削減	対基準		△1%	△2%	△3%	$\triangle 4\%$
産業廃棄物の	_	3, 900	3, 861	3, 822	3, 784	3, 746
削減			$\triangle$ 1 %	△2%	△3%	$\triangle4\%$
建設リサイクル率の向上	_	適正管理	ごく少ないのでP6の行動指針に従う			
Ⅲ. 水使用量	m³	222	220	218	215	213
削減	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△3%	$\triangle4\%$
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件	2	2	2	2	2
	対基準					
V. 課題とチャンスの推進 1. 人材不足対策 資格認定かつ活動の推進 年間目標:年1名以上 2. さんむ (無理・無駄・ムラ) 活動の推進 目標:手戻り作業 t゙ロ						

- 注)電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2018年度実績値の調整後排出係数 0.334kg-CO $_2$ /kWh を使用。
- 注) 化学物質は使用していない。

#### (2) 2023年度実績

(2) 2023 中及 关限						
年 度 項 目		2022年	2022年 7月~6月2023年度における実績 (2023年7月~2024年6月)			
		7月~6月				
rg u		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素	$kg-CO_2$	18, 213	18, 031	15, 820	114%	$\circ$
排出量削減	対基準		△ 1 %	△14%		
電力使用量削減	kWh	13, 293	13, 160	11, 100	119%	0
	$kg-CO_2$	4, 440	4, 395	3, 707		
	対基準		$\triangle$ 1 %	△19%		
ガソリン	L	5, 600	5, 544	5, 142	108%	0
使用量削減	$kg-CO_2$	12, 991	12, 861	11, 930		
	対基準		$\triangle$ 1 %	△8%		
軽油	L	303	300	71	422%	0
使用量削減	kg-C02	782	774	183		
	対基準		$\triangle$ 1 %	△322%		
Ⅱ. 廃棄物削減						
一般廃棄物	kg	384	380	178	214%	0
削減	対基準		△1%	△114%		
産業廃棄物の削減	_	3, 900	3, 861	6, 340	61%	X
			△ 1 %	/ -		
建設リサイクル率の向上	_	適正管理	ごく少ないの	つでP6の行動打	旨針に従う	
Ⅲ. 水使用量	m³	222. 0	220	165	133%	0
削減	対基準		△ 1 %	△33%		
V. 環境に配慮した	件	2	2	2	100%	0
施工の推進						
	対基準					

- 注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度=目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度=実績÷目標×100(%)
- 注2) 評価欄にて、〇:達成(100%以上)、 $\triangle$ :やや未達成(95%~100%未満)、×: 未達成(95%未満)
- 注3) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3 Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。
- 注4) 産業廃棄物(特別管理) は産業廃棄物の中に含む

## VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減	Æ PANTOU	_(目標達成)_
(下記の通り)	T —	(下記の通り)
電力使用量の削減		」 (目標達成)
<ul><li>・空調温度の適正化</li></ul>	Τ	空調温度は適正値に設定している。
(冷房28℃暖房20℃)	0	
・不要照明の消灯	©	照明の消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	0	こまめに運転作動している。
		次年度も左記取組を継続する。
ガソリン使用量の削減	•	
・アイドリングストップ	0	意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	0	日頃から安全運転に注意している。
・効率的な移動	0	次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減		_(目標達成)
	_	The state of the s
・アイドリングストップ	0	日頃から安全運転に注意している。
・空気圧、オイル等の点検	0	計画的に点検している。
		次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減	•	_(目標達成)_
・コピー用紙の両面刷り、裏面利用	©	しっかり取り組めている。
・分別の徹底	0	今後も正確な排出量を把握しながら削減に努める。
		次年度も左記取組を継続する。
産業廃棄物の削減		
<u>- 実態調査</u>	0	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	Ö	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	0	設置済みである。
		今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
		次年度も左記取組を継続する。
建設リサイクル率の向上	<u>.</u>	
・分別によるリサイクル推進	0	素材の分別に留意する。
		次年度も左記取組を継続する。
・行動にリサイクル分別推進	0	排水管並びに水道蛇口などの取替については
		使えるものは使っている。 (管理者指示に従っている)
水使用量の削減		
・節水の周知徹底	0	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・清掃時・手洗い時の節水	0	より多くの工夫ができるようにする。
		大年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進		(目標達成)
<ul><li>工事分野別の技術・ノウハウ</li></ul>		各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。
の収集		引き続き継続する。
・環境配慮施工の推進	0	   可能な限り環境に配慮した施工を実施した。
・施工技術向上の推進	<u> </u>	資格取得を推奨し、技術向上に努める。
旭二汉門司二~7年座		次年度も、左記取組を継続する。
	Ī	レハース O、 41mu4x/nu c //性// り つ 0

#### VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

四川我切で又りる上は然先因生は		
適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物)、事故時の措置届出(通報)	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。 なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

#### Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション 21に取り組んで来ました。環境推進委員の間では活発な意見交換等をし、他の社員や非正規職員にも徹底していま す。

節電、節水、エコドライブなどの省エネについては、今後より一層努力をして行きます。 また、3 Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ています。

全体的には、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、達成できて来たことは、非常に評価出来ると考えます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	_
環境経営目標	否	_
環境経営計画	否	_
実施体制	否	_
その他	否	-

2024年7月9日

代表取締役 田岡 献一郎

8